

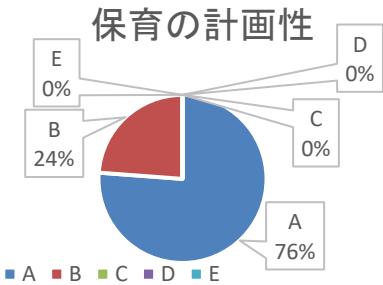
令和6年度 職員自己評価

豊崎こども園

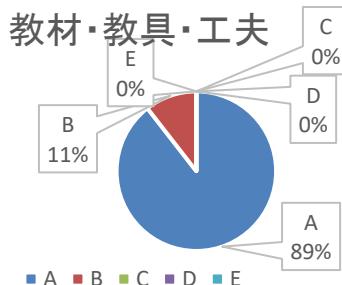
令和6年度 豊崎こども園職員を対象に自己評価を実施した結果について
下記の通り報告いたします。

1.全体的な自己評価

主幹や副主幹においての自己評価として、教育や保育等への、指導・助言については、概ね良好であるが、在園以外の地域との関りにおいて、取組み内容や方法等について課題を感じている結果となった。



保育の計画性に関する自己評価



教材・教具・工夫に関する自己評価

保育士においては、子どもの主体性を尊重した保育や、園児や保護者への挨拶や声掛けなどについて意識的に取組んでいる結果となった。保育目標や計画性において、若干の課題を感じている所もあるが、概ね良好である。

加配職員においても、担当園児の保育目標等を常に意識して取り組んでいる状況が見られ、また取組内容等についてクラス担任と相談し取組んでいる様子が見られる。

2.評価と課題

職員が保育方針に基き意識的に取組んでいる事が自己評価となって現れており、保育に対する自己肯定感にも繋がっていると感じた。園児が主体的に取り組む姿を育成する為に、積極的な声掛けによる対話を重視している姿も見られた。課題として挙がっている事として、「地域の子育てる力」を引き出す取組みについて、具体的な対策や方法において課題があり、現在行っている相談支援や園庭開放以外の方法についても検討する必要があると感じた。また職員間の連携や相談する為の時間を確保する事が難しいことから、相談時間の確保を検討する必要があると感じた。

今後は、小学校との接続を意識した取り組みを園の取り組みにいれ、また地域の保育施設との連携や協力も視野にいれた取組を検討する必要がある為、情報交換を行いながら取り組み内容を検討していくと考える。